

看護いばらき



No.128 令和2年3月31日

トピックス 看護いばらきに関する アンケート結果報告

つくばみらい市 福岡堰の桜

CONTENTS

- P 2 … 新型コロナウイルスについて・茨城県看護協会主催の研修等に関するお知らせ【3/19版】・医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員等養成研修
- P 3 … 地域包括ケア病棟の紹介
- P 4 … シリーズ 仕事をしていた、こころに残った一言
- P 5 … 令和2年度訪問看護支援事業研修のご案内
- P 6～7 … 保健師職能委員会ニュースレター 2020.3
- P 8～9 … 開業助産師の出向に関する調査結果
- P10～11… 「看護いばらき」アンケート結果報告
- P12… 理事会・ナースのための黄金週間・2020年度診療報酬改定に関する情報提供について・編集後記

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

会員数

(令和2年3月16日現在)

合計	15,503名
保健師	359名
助産師	550名
看護師	13,550名
准看護師	1,044名

新型コロナウイルス感染症について

今般の新型コロナウイルス感染症により医療機関に大きな影響が及んでいます。日本においても、現在終息の兆しは見えない状況です。最善を尽くして感染予防や診療などに日夜、業務に従事し地域医療を支えている看護職をはじめ、医療関係者の皆様に敬意を表しますと共に、この厳しい状況の中、私たち看護職をはじめ医療関係者の健康も守らなければなりません。

感染予防に関する最新の情報については厚生労働省、日本看護協会、茨城県庁の各ホームページをご覧の上、必要な対策を行うようにしてください。

<感染症予防の基本的考え>

感染症まん延防止の取組、日常生活活動での配慮

- ・大勢の集まるイベント等に中止、延期、縮小等の対応を行う。
 - ・密閉空間では換気を定期的に行う。
 - ・咳エチケット・こまめな手洗いを徹底する。
 - ・人との接触時、適度な空間をあけて接する。
 - ・発熱・咳などの症状ある方は活動を控える。
- (参照：茨城県ホームページ)

茨城県看護協会主催の研修等に関するお知らせ【3/19版】

お申込みされる際は、当協会ホームページにて事業実施可否を御確認下さい。

医療依存度の高い利用者へのケアに携わる介護職員等養成研修 ～自信をもって寄り添う看取り期のケア～

<研修概要>

今回の研修は、「看取り」について体験学習及びグループワークを主として進められました。

講師：訪問看護ステーションあさひだい：原田先生
石岡サン・テレーズガーデン：鈴木先生
日時：令和2年1月11日(土) 10時～16時
場所：茨城県看護研修センター（県央・鹿行地区）



疑似体験では、自身に病が発覚し死に向かっていくという物語の中で、①（写真）事前に作成した大切な物、大切な活動・目標、大切な場所、できごと、大切な人を記入したカードを、②（写真）「死」に向かう物語の進行に合わせて1枚、2枚と捨てていました。そして③（写真）最後に何のカードを残し、なぜそれを残したのか、グループワークで意見交換を行っていました。このような臨場感のある設定に涙をこぼしながら取り組む研修者の姿もみられました。



<研修に参加しての感想>

- ・当施設での看取りの研修で、死の体験を行っていききたいと思います。
- ・自分が死ぬという事を考え、私を含めた職員の死生観を再考できればと思います。
- ・私たちにできることは何か、を学ぶ事ができました。その人がその人らしく生きていけるお手伝いができればと思います。

<グループワークでの意見>

- ・病から死を迎えることを疑似体験したことで、自分の今後をどのように迎えたいのか考える機会となった。私たちがそう思うということは、入所者もそのように感じている。だからこそ入所者、家族と看取りケアを行っていく必要がある。

<講師の方の一言>

- ・大切にしたいもの、大切としているものや人は何なのか、それは誰でももっていて自分のこととして考えてほしい。

取材：木村 岩崎

地域包括ケア病棟の紹介

医療法人社団 協栄会 大久保病院

水戸市石川4丁目 4040-32

☎ 029-254-4555

地域包括ケア病棟

病棟師長 田中 千晶



当院は、県庁所在地である水戸市にあります。1982年に創立後、「私たちは、人権を尊重し地域社会に根ざした病院としてありつづけるため、『笑顔と親しみやすさ、感謝の心』を持ち組織運営をしていきます」の病院理念を基に、一般病棟、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養型病棟と病棟構成を変化させながら、現在は194床のケアミックス病院となっています。協栄会では当院を中心とした医療ネットワークとして、老人保健施設、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、ケアハウス、グループホーム、サポートハウスがあり、退院後の生活環境においても連携を強化しています。

地域包括ケア病棟は、2014年10月に8床から開始し、2016年7月に17床、2018年4月に35床、2020年2月はさらに10床増床しました。多職種が連携し、患者・家族の思いに寄り添いながら「その人らしく生活する」ことを一番に関わっています。

急性期後の患者や在宅、介護施設からの受け入れ、3年前からはレスパイトケアにも力を入れてきました。介護度が高い方や人工呼吸器を装着している患者、透析患者や糖尿病の教育入院も受け入れています。在宅への退院を目指してはいますが、老々介護や独居で身寄りがない等、環境面の問題を抱えていることも多く、長期の入院や施設入所の希望もあるため、多職種でカンファレンスを実施しながら、患者・家族にとってより良い環境を提供できるよう退院支援をしています。

病院は、専門職がいることで安心感がありますが、24時間鳴り響くナースコールやモニターの音、人の声や他人との生活によるストレスも多く、患者にとっては負担となります。その中で少しでも気分転換となり、経口訓練や排泄行動の自立支援を含めたりハビリを強

化する等、昨年から月に1～2回の院内デイサービスの取り組みを開始しました。実施日にはスタッフの人数を増やし、身体拘束となるものは全て外して車イス乗車や歩行器での離床、トイレでの排泄を勧めたり、口腔ケア時のマッサージや棒付き鮎を味わいながら唾液の分泌を促して嚥下訓練を強化しています。また、季節に合わせた飾り物を患者・家族と一緒に作成し、輪投げやボウリング、玉入れ、紙で作成した魚釣り等のレクリエーションを楽しみにしてくれる患者も多くなりました。その中で発見できたことは、人はどのような状態であっても「こんなことができる、こんなに話せる、こんなに笑う」といった生きる力を持ち続けていると

いうことです。「どうせやるなら楽しく仕事をしよう」とよくスタッフに伝えていますが、百聞は一見に如かずで「患者さんがいつもと全然違います」と嬉しそうに話すスタッフの笑顔を見る度に嬉しくなります。デイサービスの取り組みを行ったことでス

タッフがいつもと違う患者の変化を知り、看護の魅力に気付く機会にもなりました。まだまだ課題はありますが、患者・家族、スタッフとも人として向き合い、新たなチャレンジを続けていきます。看護はチームで行うものです。多くの仲間と一緒に考えながら、継続的な関わりができるよう取り組んでいきます。



「季節の合わせた飾り物」患者・家族と共に作成

仕事をしていて、ここに残った一言



ひたち医療センター 鳥居塚 淳

22歳の時、交通事故での入院をきっかけに、人のためになりたいと看護師を志しました。当時、男性看護師は「看護士」と称され人数も少なく、仕事を辞めて看護学校に入りたいと両親に話すと「どうして男が看護婦になるんだ」と父に反対されました。それでも受験勉強を続け入学試験を受ける自分に、「お前の道を頑張れ」と学業成就のお守りをもらったことを覚えています。勤労学生として准看護師を経て看護師となり、自分自身が選んだ道であるから絶対にあきらめないという気持ちで頑張ってきました。そして昨年、セカンドレベル課程を受講することで自分自身を見つめ直すことができ、看護師として続けてこれたことを本当に幸せに思いました。



牛久愛和総合病院 根本 優美

プライマリー患者を担当し始めた頃のこと。人工呼吸器を離脱した後に気管切開をした患者がいた。筆談でコミュニケーションを図るが、うまく意思疎通が図れず、患者を怒らせてしまう事が多々あった。主治医に相談し、スピーチカニューレに変更出来ることになった。その時の第一声が、「今まで迷惑をかけてごめんな。ありがとう。ありがとう。」と私の手を握り、自分の声で一生懸命に話してくれた。コミュニケーションがうまくとれないことで、患者につらい思いをさせていたのではないかと考えていたため、生き生きと話す患者の姿をみて、うれしい気持ちでいっぱいになり、患者と一緒に涙を流して喜んだことを今でも強く覚えています。

応募要項

今まで行ってきた看護の場面で、患者さま、ご家族、他の医療従事者などからもらった、**心に残った言葉・体験を募集**しています。

投稿していただいたものを「看護いばらき」で、紹介させていただきます。

対象は、茨城県内で就業している看護職の方です。

氏名、看護職歴、施設名を記載してください。

(匿名での掲載も可能です)

原稿は、300文字以内でお願いします。

郵送先 310-0034
茨城県水戸市緑町 3-5-35
茨城県看護協会 広報委員会 宛

メール先 ibakango@olive.ocn.ne.jp

「仕事をしていて心に残った一言」
その一言があったから頑張っている
その一言で、看護観が変わった
その一言で、救われた

2つのエピソード
ありがとうございます。

これからもどんどん
「看護いばらき」で
紹介させていただきます。



【令和2年度 訪問看護支援事業研修のご案内】

※詳細については茨城県看護協会ホームページ <https://www.ina.or.jp> で確認の上、《様式10、11》を使用しFAX、郵送にてお申し込みください。（研修No.12を除く）

※研修No.12は専用申込書を使用し専用アドレス e-learning@ina.or.jp へお申し込みください。

研修番号	研 修 名	日 程 日 数	研修会場 定員	目 的	参 加 条 件	資料代 (円)	応募 期間
11	訪問看護入門プログラム	11月14日(土) 11月15日(日) 2日間	看護研修 センター 30名	訪問看護に関心のある看護師等が、訪問看護に必要な初歩的知識と技術を理解する 訪問看護未経験でも「自分も訪問看護ができそうだ」「やってみよう」という気持ちになれる	訪問看護に興味・関心のある看護学生、看護職等	無料	9/1 ～ 9/30
12	訪問看護師養成講習会 ①eラーニング ②講義・演習（集合研修） ③実習	6月24日(水) ～ 11月26日(木) ①13単位 ②6日間 ③3日間	看護研修 センター 35名	訪問看護に携わる看護師等が、訪問看護に必要な基本的知識と技術を習得し、質の高い訪問看護を提供する	訪問看護に従事または従事を希望する看護職 ※専用申込書：HP参照 FAX、郵送不可	10,000	4/1 ～ 5/10
13	在宅療養・訪問看護推進研修 －訪問看護同行研修－	6月24日(水) ～ 11月26日(木) 6日間	看護研修 センター 30名	医療機関に勤務する看護師等が、在宅で訪問看護を利用する療養者及びその家族のもとへ、訪問看護師と同行訪問することにより、在宅療養の理解を深め、入退院支援・調整の推進を図る	医療機関等に勤務する看護師等で、地域連携や入退院支援・調整に関わる看護教員	3,000	4/1 ～ 5/10
14	訪問看護専門分野研修 (小児・重症心身障がい児)	7月10日(金) ～ 11月12日(木) 6日間	看護研修 センター 20名	難易度の高い看護ニーズを持つ小児の訪問看護に携わる看護師等が、小児・重症心身障がい児看護の専門的知識及び技術を習得し、質の高い訪問看護を提供する	在宅療養者への訪問看護に従事又は従事を希望する看護師	3,000	5/1 ～ 5/31
15	訪問看護専門分野研修 (難病)	8月31日(月) ～ 10月29日(木) 5日間	看護研修 センター 20名	神経難病を抱える在宅療養者に関わる看護師等が、神経難病看護の専門的知識及び技術を習得し、質の高い訪問看護を提供する	在宅療養者への訪問看護に従事又は従事を希望する看護師	2,000	6/15 ～ 7/15
16	訪問看護専門分野研修 (終末期看護)	7月15日(水) ～ 10月14日(水) 5日間	看護研修 センター 20名	在宅療養者に関わる看護師等が、終末期にある患者と家族のQOL向上を目指した療養生活を支援する方法と看取りについて理解する	在宅療養者への訪問看護に従事又は従事を希望する看護師	2,000	5/1 ～ 5/31
17	訪問看護専門分野研修 (精神)	6月30日(火) ～ 12月3日(木) 5日間	看護研修 センター 20名	精神障がい者等に関わる看護師等が、精神看護の専門的知識及び技術を習得し、質の高い訪問看護を提供する	在宅療養者への訪問看護に従事又は従事を希望する看護師	2,000	4/1 ～ 5/10
54	訪問看護ステーション管理者研修	9月12日(土) ～ 10月25日(日) 6日間	看護研修 センター 10名	訪問看護ステーションで管理に携わる看護師等が、訪問看護の経営・マネジメントに必要な知識を習得することにより、管理者の資質の向上を図ることができ、質の高い組織的訪問看護サービスを提供する	訪問看護ステーションで管理に携わっている者	4,000	5/1 ～ 5/31
55	訪問看護師指導者養成研修	7月5日(日) ～ 1月21日(木) 5日間	看護研修 センター 20名	訪問看護に携わる看護師等が、管理者とともに職員の教育及び評価ができる能力を習得し、人材育成ができる	訪問看護ステーションの管理者・教育担当者 医療機関教育担当者 看護教員	2,000	5/1 ～ 5/31

保健師職能委員会 ニュースレター 2020.3

保健師会員数359人
(令和2年3月16日現在)

今年度の保健師職能活動を振り返って 職能委員長 小野村 順子 (つくば市役所)

日頃から、委員会活動にご参加、ご協力いただき感謝します。

恒例となりました保健指導ミーティングや災害時保健活動研修に加え、協会の教育事業に位置づけられた新任保健師研修、活動領域を超えた「健康経営と地域職域連携」研修を行いました。各研修を受講した保健師から好評を得ました。次年度は、協会の教育事業に保健師記録研修を追加する予定です。

また、今年度は県内保健師関連団体の長にお集まりいただき、会の活動状況等について共有いたしました。

これからも、皆様のお役に立つ内容が提供できるよう、委員一同、力を合わせて頑張ってまいります。



研修会報告 1

保健指導ミーティング『保健指導スキルアップ研修会』

令和元年 11 月 13 日 (水)

- ◇目的：新任期及び指導保健師のスキルアップと、効果的な個別事例のアセスメントを学ぶことを目的として下記のとおり開催しました。
- ◇内容：「実践力 UP 事例検討会」～みて・考え・理解して～
講師 つくば市健康増進課 小野村順子統括保健師
- ◇参加人数：保健師・看護師 30 名
- ◇総括：保健指導ミーティングの手法を用いた事例検討会の実施をとおして、ケースを一人で抱えるのではなくチームで支援していくことの重要性や、事実と印象・想像を整理して、本人の本当の想いを大切に支援するという保健師のアセスメント能力強化につながりました。



令和元年度 茨城県保健師関連団体会議

令和元年 12 月 18 日 (水)

- ◇参加団体 茨城県内の保健師関連団体（健康保険組合茨城連合会・在宅保健師の会・茨城県職員保健師会・市町村保健師連絡協議会・全国保健師長会茨城県支部）
- ◇内容 各団体の紹介および課題の共有など
- ◇結果 各団体の活動内容や会員の状況、課題について共有し、今後の活動の展開について協議しました。働きやすい環境の整備や、地域職域連携の必要性についてご意見をいただきました。皆様からのご意見を基に今後の保健師職能委員の活動につなげていきたいと考えています。

研修会報告 2

「保健師の資質向上に関する研修会」

令和2年1月29日(水)

◇目的

災害支援に従事する際に知っておきたい基本的な知識を学び、平常時から必要な対策について理解する。また、受援体制について考える機会とする。

◇内容

【第1部】関東・東北豪雨災害における保健活動

報告者：常総市幸せ長寿課 課長 秋葉 理恵子氏

水戸市保健センター 技正 加瀬林 和恵氏

コメント：茨城県疾病対策課 技佐 関 律子氏

【第2部】講義「災害への備えとしての地域保健活動～地域力と受援力を高める～」

講師：福島県立医科大学 教授 末永 カツ子氏

グループワーク 受援体制整備について

◇参加人数：保健師・看護師21名

関東・東北豪雨災害における保健活動の報告があり、平時から初動体制を確認しておくことの重要性や業務開始前に情報共有、職員の健康管理、応援保健師の姿勢、保健師の一元的な活動と指揮命令系統の整備が重要であることを学ぶことができました。

また、地域の防災力や地域担当制がソーシャルキャピタルの醸成に効果的であること、平時の備えについて講義があり、グループワークでは、受援体制整備について意見交換し、今後の災害受援等に課題がみえ、平時に備えられる心構えが整いました。



研修会報告 3

「地域・職域連携情報交換会」

令和2年2月13日(木)

◇目的

地域・職域連携の基本的な考え方を学び、情報共有することで、これからの地域・職域連携について考える機会とする。

◇内容

【第1部】①茨城県での健康経営の取り組みについて

講師：茨城県保健福祉部 健康・地域ケア推進課

主査 田邊 好美氏

②健康経営取組の事例発表

講師：公益財団法人 筑波メディカルセンター

つくば総合健診センター 副看護部長 光畑 桂子氏

【第2部】講演「これからの健康経営と地域・職域連携について」

講師：東京大学未来ビジョン研究センター

受託研究員 / 健康経営アドバイザー

村松 賢治氏

グループワーク 地域・職域連携について

◇参加人数：保健師・看護師 23名

◇総括：第1部では、国が策定した「地域・職域連携推進事業ガイドライン」について改定も含めた国の動向について、また、実際の健康経営取組について具体的に情報共有できました。

第2部では、健康経営の仕組みや効果を学び、先進事例を紹介していただいた。

グループワークでは、健康経営の課題について情報交換できました。





開業助産師の出向に関する調査結果

助産師出向とは？

茨城県内に勤務するすべての助産師を対象に、現在の職場の身分を維持しながら他施設で働くことです。出向することで、助産師は必要な経験ができ、助産能力と意欲を高め、周産期医療サービスの充実を図ります。助産師の少ない地域や施設に、助産師のケアを届けましょう！

平成 27 年から出向事業が始まり、これまでに 15 名の助産師が出向しています。

開業助産師への調査

これまでは県内の分娩取り扱い医療機関へ意向調査を行い、希望した施設間の出向をマッチングしてきました。しかし様々な理由により出向に至らないケースがありました。出向を希望していても、スタッフが不足しているため困難であるなど、人員不足が大きな問題となっています。

そこで茨城県助産師会にご協力いただき、開業助産師へ出向に関する調査を行いました。この結果をもとに出向に意欲を示した助産師と医療施設とのマッチングを開始し、11 月 1 日より開業助産師の出向が始まりました。その調査結果を掲載します。

調査方法

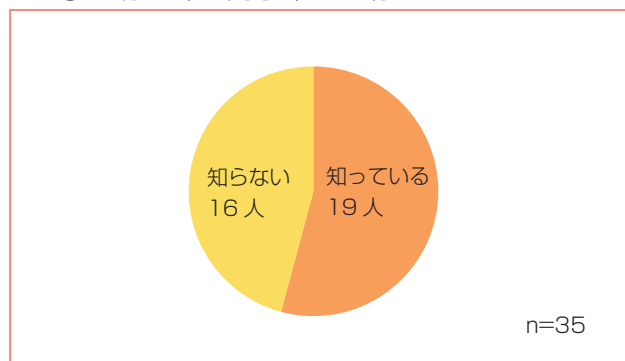
茨城県助産師会の助産所部会員と保健指導部会員、合わせて 64 名に調査用紙を郵送し FAX または返信用封筒にて回答を返送してもらいました。

令和元年 8 月 22 日発送し、35 部回収。回収率は 54.6%でした。

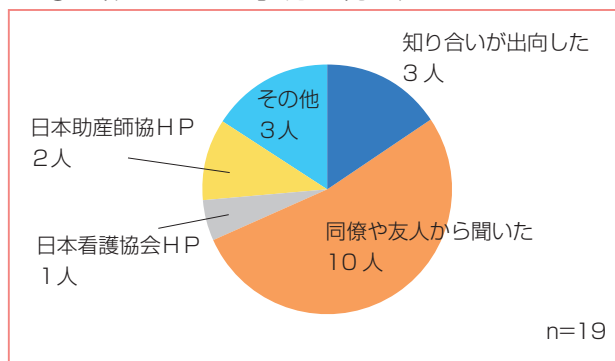


調査結果

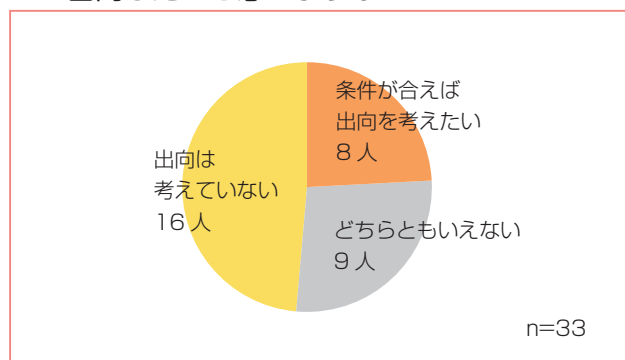
1-①. 助産師出向事業をご存じですか？



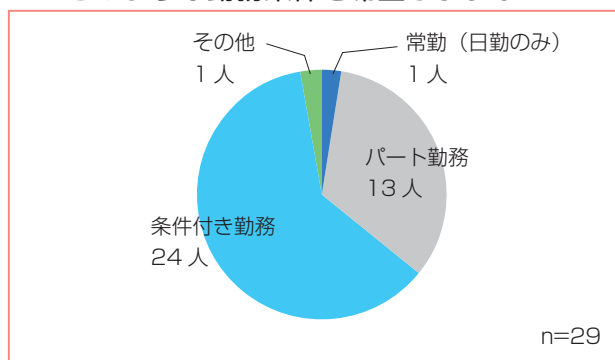
1-②. 「知っている」方は何で知りましたか？



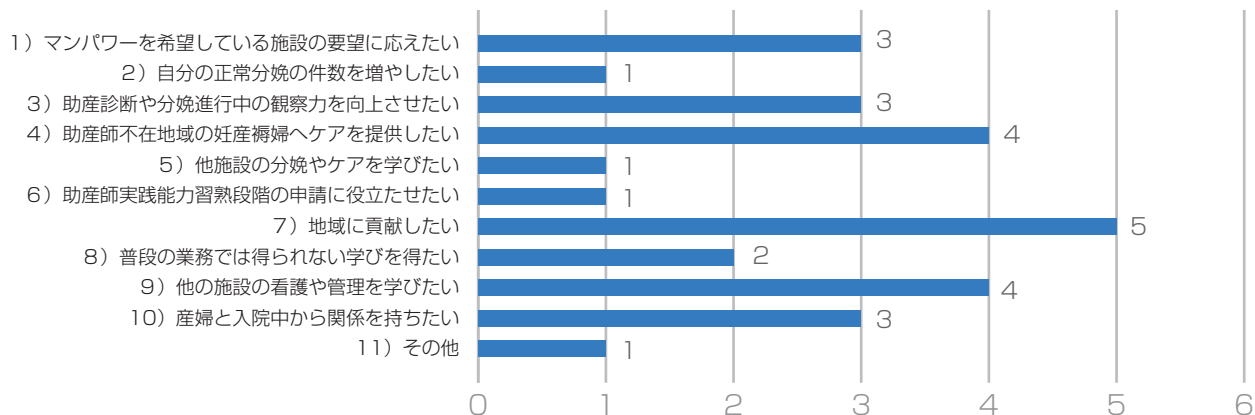
2. 出向したいと思いますか？



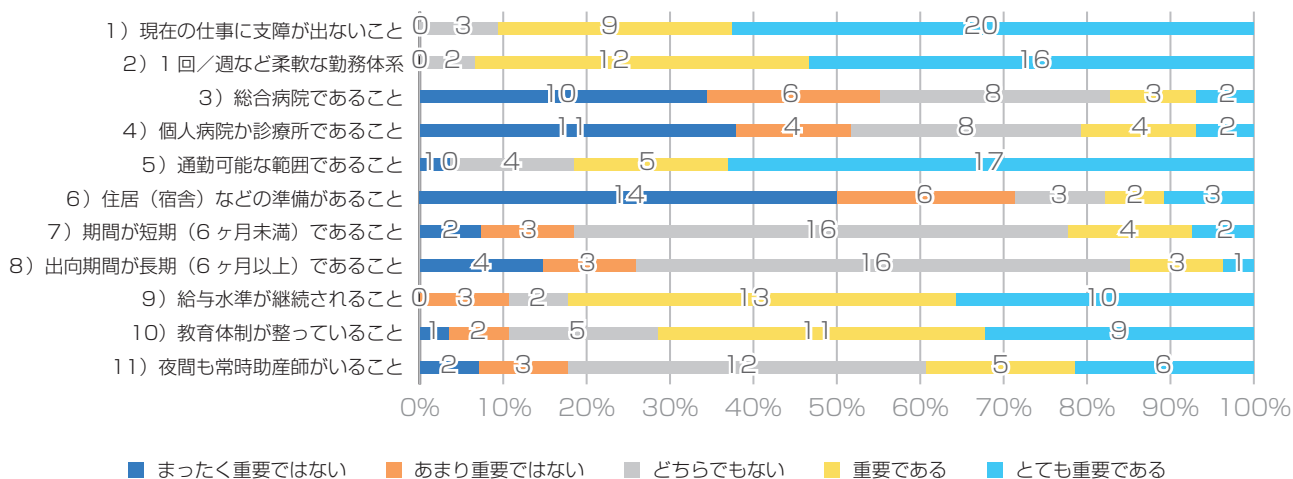
3. どのような勤務条件を希望しますか？



4. 出向を希望する理由は何ですか？（複数回答）



5. 出向するために重要な条件は何ですか？



6. 事業に対するご意見（自由記載）

- コーディネーターの方のご苦労は大変だと思いますが、ありがたいシステムだと思う。
- 年齢的・体力的にもう少し若ければ少しでもお手伝いしたいと思うが、難しい。少しでも可能性のある方は、是非手をあげてほしい。
- 資格を使い、少しでも働きたいと思うが現在は子供が小さく難しい、出向施設の事など詳しく聞きたい。
- 他院を知ることや現状の違いなどがわかることは利点だ。受け入れ方法が統一していることも大切であるとする。
- 家庭の事情でしばらくの間はできる仕事はなさそう。お役に立てず申し訳ない。



開業助産師の出向第1号 藤田 ゆかり さん（2019年春に藤田助産院を開業）

【江幡産婦人科・内科病院へ11月1日より6ヶ月出向（2回/週 時短勤務）】

9月に出向の話をいただき、地域への貢献と助産院の周知につながればと思い出向に申し込みました。出向先では授乳トラブルが起きている状態だったため、勉強会の開催、授乳指導等の改善をおこないました。その結果スタッフの指導レベルが上がり、トラブルが減ったように感じます。施設間の母乳育児支援の格差解消のためには、外部からの助産師の支援が有効だと感じました。2月からは1回/週に変更して出向を延長することになりました。

「看護いばらき」 アンケート 結果報告 (一部抜粋)

この度、茨城県看護協会機関誌である「看護いばらき」に関するアンケートにご協力頂いた施設におかれましては、誠にありがとうございました。一部抜粋ではありますが、アンケート結果をご報告させていただきます。



<目的>

「看護いばらき」の現状と課題を明らかにして、親しみやすく、分かりやすい機関誌になるための内容の充実、改善につなげる。

<調査概要>

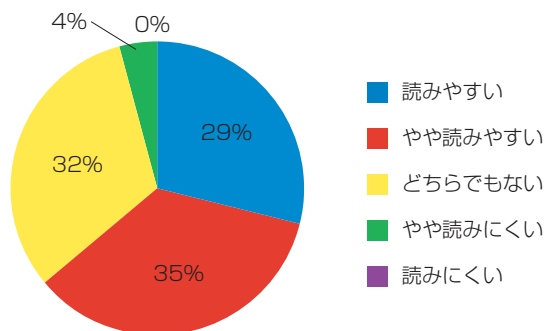
調査対象：茨城県看護協会会員施設 66 施設（500 名）を無作為に抽出する。

調査期間：令和元年 10 月 1 日～令和元年 11 月 29 日

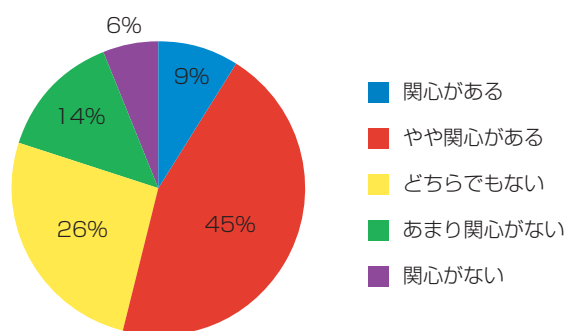
<結果>

アンケート回収率（配布数 500 回答数 349）回収率 69.8%

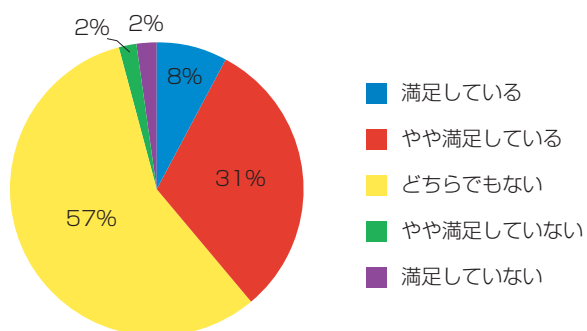
読みやすさ（文字の大きさ、デザイン等）



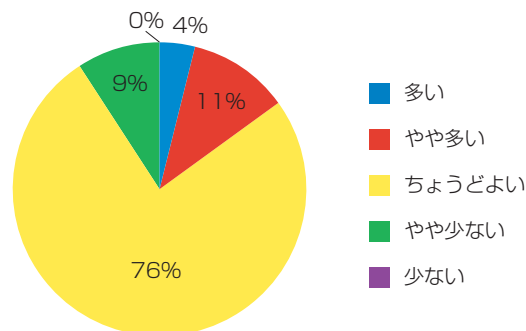
内容の興味・関心



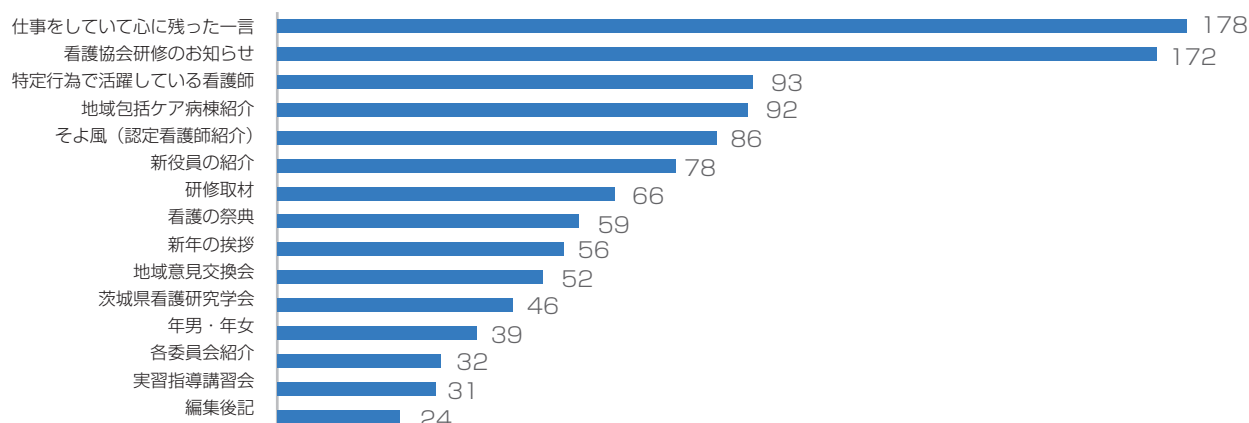
看護いばらきに関する満足度



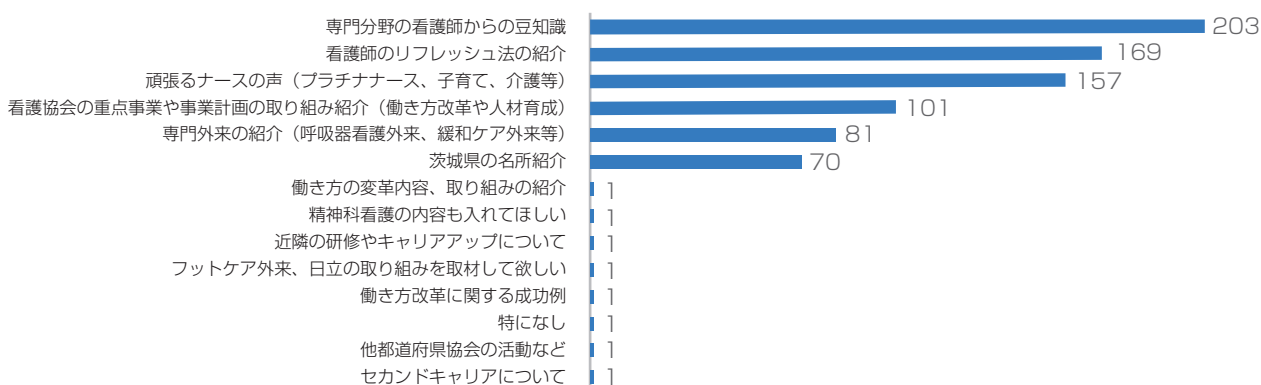
情報の量



「看護いばらき」で良く読む内容（複数回答可）



今後新たに掲載してほしい内容（複数回答可）



その他「看護いばらき」についてご意見、ご要望がありましたら教えてください

- 今後の看護師の役割と働く声
- 仕事、生活を含めて、身近な内容を増やしてほしい
- 時間外削減や退院支援など様々な視点での県内施設の取り組み内容
- 働き方改革は、改革された現場の人たちの実際の声を知りたいです
- 各委員会の活動報告
- 他の施設や病院で特化した取材
- 専門分野看護師の技術や知識の情報提供があるといい
- 小児看護の記事を増やしてほしい



<結論>

今回の調査で、「看護いばらき」の構成についてはよい評価を得たが、満足度ではどちらでもないとの回答が半数以上であった。満足度を上げるためには、良く読む内容や今後新たに掲載してほしい内容等を参考にし、皆さんの意見を取り入れて、興味関心のある内容を新たに掲載していきたい。

令和元年度
広報委員会

渡邊智明 守屋静子 岩崎智英 薄井佳子 木村裕一 濱野こすえ

令和元年度理事会報告

■第6回 令和2年2月14日(金)

【協議事項】

- 1 事業報告(10月～12月) 承認
- 2 令和2年度重点政策・重点事業(案)について 承認
- 3 令和2年度事業計画(案)について 継続協議
- 4 令和2年度教育計画(案)について 承認
- 5 予算執行状況について 承認
- 6 令和2年度予算(案)について 継続協議
- 7 認定看護管理者教育課程規則・細則改正(案)について 承認
- 8 認定看護管理者教育課程受講料の改正(案)について 承認
- 9 令和2年度優良看護職員表彰候補者の推薦について(案) 承認
- 10 令和3年度日本看護協会代議員及び予備代議員理事会推薦枠について(案) 承認

【報告事項】

- 1 茨城県看護研究学会報告
- 2 2020 東京オリンピック大会医療スタッフ派遣について

■第7回 令和2年3月14日(金)

【協議事項】

- 1 令和2年度事業計画(案)について 承認
- 2 令和2年度通常総会プログラム(案)について 承認
- 3 令和2年度職能集会プログラム(案)について 承認
- 4 令和2年度収支予算(案)について 承認
- 5 令和2年度資金調達及び設備投資見込み(案)について 承認
- 6 非常勤職員等給与規程の改正(案)について 承認

【報告事項】

- 1 令和元年度日本看護協会第6回理事会報告(2/20・21)
- 2 令和2年度日本看護協会会長表彰者の決定について
- 3 2020 東京オリンピック大会医療スタッフ派遣について
- 4 新型コロナウイルス感染症防止対策への対応について

～ナースのための「黄金週間」～

看護師の皆様は、患者の急変時に最初に対応する立場にあります。看護師の蘇生に関する専門知識と技能は、急変した患者の予後を大きく左右することになります。医療の現場で、安全、迅速、効果的な蘇生を実施するだけでなく、院内各職種の蘇生技術を向上させるための教育を行わなければなりません。私どもは、2009年より毎年、4月～5月を「ナイチンゲール月間」と称し、看護師の皆様を応援するためのキャンペーンコースを行っています。

【2020年ナイチンゲールコース(看護師限定：救命処置コース)開催予定】

会場：独立行政国立病院 水戸医療センター 他

- ◆ 4月25日(土)
PEARS Provider Course (乳児・小児初期評価)
- ◆ 4月25日(土)～26日(日)：2日間コース
PALS Provider Course (乳児・小児二次救命処置)
- ◆ 5月9日(土)
BLS Provider Course (成人・小児・乳児一次救命処置)
- ◆ 5月9日(土)～10日(日)：2日間コース
ACLS Provider Course (成人二次救命処置)
- ◆ 5月10日(日)
BLS Provider Course (成人・小児・乳児一次救命処置)
ACLS-EP Course (ACLS上位コース：特殊な二次救命処置)

【共催】

公益社団法人 茨城県看護協会
認定 NPO 法人 茨城 ACLS 協会

<お問い合わせ先>

NPO 法人 日本 ACLS 協会
TEL：047-468-8912
Mail：entry@acsls.jp

新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐため、現在、開催予定のコースも今後、中止となる場合がございます。最新の情報を日本 ACLS 協会 HP にてご確認ください。

2020年度診療報酬改定に関する情報提供について

2020(令和2)年度は診療報酬の改定が行われます。

日本看護協会では、今回の診療報酬改定について、会員マイページ「キャリアナース」上で動画コンテンツを用いた情報提供を行います。配信開始日は3月27日(金曜日)を予定しています。

編集
後記

看護いばらきに関するアンケートにご協力ありがとうございました。皆様の貴重なご意見をもとに魅力ある機関誌にしていきたいと思っております。

広報委員一同